

樋口長市文献目録

平田勝政

A Bibliography of Choichi Higuchi's Works

Katsumasa HIRATA

はじめに

1. 本目録は、東京高等師範学校教授として「特殊教育学」等を講じ、「特殊教育」という用語とその概念の形成・確立にきわめて重要な役割を果たした教育学者の樋口長市(1871～1945)の業績(著書・論文等)を年代順に配列・編成したものである。
2. 樋口目録については、すでに樋口の「精神薄弱」概念の検討の際に、主要な「特殊教育」関係資料に限って整理し、本誌第44号(1993年)に掲載したが、その後の調査で重要資料の遺漏が判明し補足の必要を感じていた。さらに今回憲法・教育基本法・学校教育法50年＝「特殊教育50年」という節目に際して、樋口の「特殊教育」概念を本格的に検討していくにあたり、樋口の教育実践・研究活動とその業績の全体像をより正確に把握しておく必要があった。
3. 本目録の作成にあたっては、伊藤寿彦氏作成の「樋口長市文献目録(案)」(日本特殊教育学会第30回大会発表補足資料 1992年9月 著書・論文300件を収録)を参考にさせていただいたが、筆者なりの点検・独自調査によって大幅な補充をおこなった。点検に際しては、①教育ジャーナリズム史研究会編『教育関係雑誌目次集成』(日本図書センター)、②津曲裕次監修『障害者教育・福祉・リハビリテーション目次総覧(第一期)』(大空社)、③その他明示しないが各種復刻版に伴って作成された目次・索引、等をまづもって活用させていただいた。ここに記して感謝する。
4. 収録の範囲は、著書・論文(再掲、抄録・摘録を含む)を中心にしつつ、東京聾啞学校長時代の訓話・挨拶などの記事も一括して加えた。関係者による人物伝・人物評等の関連資料も、No欄に*印をつけて、年代順に該当箇所挿入した。備考欄中の印は、それぞれ★印＝「特殊教育」関係(不良児教育は含めない)、◎印＝「不良児教育」関係、の資料を意味する。また、M＝明治、T＝大正、S＝昭和の略である。
5. 本目録は、樋口長市の業績の全体像を極力把握することに努め、大部分を網羅していると考えられるが、個人の力には限りがあり思わぬ重要資料の遺漏もあるかもしれない。また、所蔵不明で未確認のものも若干存在している。ご教示いただければ幸いである。この目録によって樋口長市研究が様々な視点から進展し、研究の厚みが増すことを願うものである。最後に、文献の収集にあたりお世話になった、全国の図書館とその関係者に心から謝意を表します。(1996. 10. 31)

No.	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
1	ベスタロッチャー (1) *樋口梓溪	「教育実験界」第3巻第7号	40-46	1899(M.32)-4	
2	ベスタロッチャー (2) *樋口梓溪	「教育実験界」第3巻第9号	33-39	1899(M.32)-4	
3	ベスタロッチャー (3) *樋口梓溪	「教育実験界」第3巻第10号	35-40	1899(M.32)-5	
4	ベスタロッチャー (4) *樋口梓溪	「教育実験界」第3巻第11号	32-38	1899(M.32)-5	
5	問答につきての注意 (1) *樋口梓溪	「教育公論」第8号	19-21	1899(M.32)-5	
6	問答につきての注意 (2) *樋口梓溪	「教育公論」第9号	10-17	1899(M.32)-5	
7	消極的名誉心と道德及教育	「教育公論」第11号	8-11	1899(M.32)-6	
8	笑	「教育公論」第16号	3-7	1899(M.32)-9	
9	寄宿舎教育論 (上) *樋口梓溪	「教育学術界」第1巻第2号	40-50	1899(M.32)-12	
10	寄宿舎教育論 (中) *樋口梓溪	「教育学術界」第1巻第4号	58-63	1900(M.33)-2	
11	寄宿舎教育論 (下) *樋口梓溪	「教育学術界」第1巻第6号	52-63	1900(M.33)-4	
12	幼稚園唱歌に就て疑のふーふー	「京阪神保育会雑誌」第4号	1-11	1900(M.33)-4	
13	リズムと唱歌及び遊戯 *樋口梓溪	「京阪神保育会雑誌」第5号	1-4	1900(M.33)-10	
14	直観主義の変遷 *樋口梓溪	「教育新誌」第35号	6-8	1900(M.33)-10	
15	『教育適用 児童心理学』	同文館	全210頁	1900(M.33)-2	
16	『新令適用 小教育学』	宝文館	全168頁	1901(M.34)-1	
17	右ききの原因 (奚信生)	「京阪神保育会雑誌」第6号	26-30	1901(M.34)-5	
18	訥の右手を動かす所以に関する生理上の臆説 (梓溪)	「京阪神保育会雑誌」第7号	7-11	1901(M.34)-12	
19	児童に対する理想 (奚信生)	「京阪神保育会雑誌」第7号	12-13	1901(M.34)-12	
20	『師範教科 教育史』 *田中治六・佐々木吉三郎・斎藤斐章と共著	同文館	全254頁	1902(M.35)-3	
21	唱歌の起原を論じてその発達史上に於ける児童の位置に及ぶ (奚信生)	「京阪神保育会雑誌」第8号	66-68	1902(M.35)-7	
*22	樋口長市君ノ転任	「京阪神保育会雑誌」第10号	27-28	1903(M.36)-8	
22	京阪両市小学校参観所感を讀みて(1)(梓溪生)	「東京教育雑誌」第165号	26-29	1903(M.36)-9	
23	京阪両市小学校参観所感を讀みて(2)(梓溪生)	「東京教育雑誌」第166号	32-36	1903(M.36)-10	
24	学校参観記	「東京教育雑誌」第169号	20-23	1904(M.37)-1	
25	我校の二部教授	「東京教育雑誌」第175号	16-20	1904(M.37)-7	
26	村落小学校に於ける戦後の国民教育	「教育界」第4巻第5号	36-40	1905(M.38)-3	
27	村落小学校に於ける戦後の国民の訓練法	「教育界」第4巻第8号	21-24	1905(M.38)-6	
28	絶島国民の教育	「教育界」第4巻第10号	93-97	1905(M.38)-8	
29	訓練法を具案的にすべし	「日本之小学教師」第85号	27-28	1906(M.39)-1	
30	児童管理の話	「小学校」第1巻第1号	35-38	1906(M.39)-4	
31	劣等児の教育 (一)	「教育研究」第27号	1-3	1906(M.39)-6	★
32	劣等児の教育 (二)	「教育研究」第29号	1-4	1906(M.39)-8	★
33	教員待遇論 (梓溪生)	「教育研究」第29号	57-59	1906(M.39)-8	

No	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
34	目下独逸に行はれる新小学校編制法 (服部教一著/梓溪(抄))	「教育研究」第31号	54-55	1906(M.39)-10	★
35	劣等児の教育 (三)	「教育研究」第32号	6-8	1906(M.39)-11	★
36	『自習辞典』	宝文館	全頁	1906(M.39)	未見
37	六学年の単級小学校 (1)	「教育研究」第34号	13-17	1907(M.40)-1	
38	六学年の単級小学校 (2)	「教育研究」第36号	1-6	1907(M.40)-3	
39	敢て国民教育者に語る	「小学校」第3巻第1号	5-10	1907(M.40)-4	
40	六箇学年に於ける学級編制法の複雑なるもの	「小学校」第3巻第2号(臨時増刊)	11-25	1907(M.40)-4	
41	敢て国民教育者に告ぐ (2)	「小学校」第3巻第3号	56-66	1907(M.40)-5	
42	経費を増すことなくして高等小学校の修業年限を三箇年となす一案	「教育研究」第40号	39-44	1907(M.40)-7	
43	二部教授といふ名称を改むべし (梓溪生)	「教育研究」第41号	96-99	1907(M.40)-8	
44	二部教授につきて	「教育実験界」第20巻第8号	42-44	1907(M.40)-10	
45	現今の教授法	「教育実験界」第20巻第10号	50-51	1907(M.40)-11	
46	劣等児の教育につきて (奚信生)	「教育研究」第44号	90-91	1907(M.40)-11	★
47	韓国所観 (梓溪生)	「教育研究」第44号	97-103	1907(M.40)-11	
48	尋常科下学年の二部教授について	「教育研究」第45号	1-10	1907(M.40)-12	
49	南韓所観 (梓溪生)	「教育研究」第45号	94-97	1907(M.40)-12	
50	殖民地の教育	「教育の実際」第2巻第3号	14-18	1908(M.41)-1	
51	小学校教授法の根本思想を変更すべし	「教育研究」第46号	69-75	1908(M.41)-1	
52	英人の米国小学校批評 (梓溪生)	「教育研究」第47号	77-83	1908(M.41)-2	
53	再び低能児の教育につきて	「教育研究」第48号	1-10	1908(M.41)-3	★
54	英人の独逸小学校參觀記 (奚信生)	「教育研究」第48号	83-87	1908(M.41)-3	
55	南韓所感 (梓溪生)	「教育研究」第48号	91-94	1908(M.41)-3	
56	附属小学校単級教室の移転につきて (梓溪生)	「教育研究」第51号	77-80	1908(M.41)-6	
57	複式学級の教授につきて	「小学校」第5巻第6号	51-54	1908(M.41)-6	
58	第三部補習科の状況 (奚信生)	「教育研究」第54号	84-92	1908(M.41)-9	
59	『尋常小学二部教授要義』(立石仙六・村野幸次郎と共著)		全頁	1908(M.41)-10	未見
60	夜学について	「教育之実際」第3巻第2号	53-56	1908(M.41)-12	
61	夜学校に就て (承前)	「教育之実際」第3巻第3号	51-55	1909(M.42)-1	
62	経済的学習法	「小学校」第6巻第8号	10-14	1909(M.42)-1	
63	興味説と努力説につきて	「教育研究」第58号	1-7	1909(M.42)-1	
64	『自習法並にこれと関連せる教授法』(立石仙六と共著)	宝文館	全178頁	1909(M.42)-3	
65	原級留置児童につきて	「教育研究」第65号	1-10	1909(M.42)-8	★
66	原級留置児童につきて	「教育学术界」第19巻第6号	118	1909(M.42)-9	★

No	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
67	教室管理上に於ける極端なる厳肅主義につきて	「小学校」第8巻第2号	27-29	1909(M.42)-10	
68	実験教育学非難に対する弁解(奚信生)	「教育研究」第68号	77-80	1909(M.42)-11	
69	口の開け放しと精神の鈍弱との関係	「小学校」第8巻第7号	67-69	1910(M.43)-1	★
70	新領土における国語普及案	「小学校」第10巻第1号	59-63	1910(M.43)-10	
71	特種なる夜学補習学校	「教育実験界」第26巻第10号	7-12	1910(M.43)-11	
72	馬鹿に附ける薬がない	「教育之実際」第5巻第1号	157	1910(M.43)-11	★
73	児童の自習を重んずる教育法(1)	「教育研究」第80号	19-26	1910(M.43)-11	
74	二語教授につきて	「小学校」第10巻第8号	67-69	1911(M.44)-1	
75	低能児教育実験談	「日本之小学教師」第145号	30-32	1911(M.44)-1	★
76	低能児教育実験談	「児童研究」第14巻第8号	245-246	1911(M.44)-2	★
77	児童の自習を重んずる教育(2)	「教育研究」第83号	30-37	1911(M.44)-2	
78	新聞紙を教科書となすことについて	「教育実験界」第27巻第6号	7-13	1911(M.44)-3	
79	児童の自習を重んずる教育(3)	「教育研究」第85号	1-11	1911(M.44)-4	
80	児童の自習を重んずる教育(4)	「教育研究」第86号	1-10	1911(M.44)-5	
81	語言について	「日本之小学教師」第149号	30-32	1911(M.44)-5	
82	児童の自習を重んずる教育(5)	「教育研究」第87号	1-10	1911(M.44)-6	
83	留学生の候補者	「国民教育」第2巻第7号	55	1911(M.44)-7	
84	低能という語について	「教育之実際」第5巻第10号	80-84	1911(M.44)-7	★
85	海外教育近状(伯林の補助学校に関する新規程、他)(梓溪生)	「教育研究」第88号	71-73	1911(M.44)-7	★
86	児童の自習を重んずる教育(6)	「教育研究」第89号	1-11	1911(M.44)-8	
87	海外教育近情(独国都市の補助学校、他)(梓溪生)	「教育研究」第89号	70-73	1911(M.44)-8	★
88	学習学校か教授学校か	「教育研究」第90号	7-15	1911(M.44)-9	
89	教員優遇令(梓溪生)	「教育研究」第93号	58-62	1911(M.44)-12	
90	普通補習学校	「教育実験界」第29巻第4号	8-11	1912(M.45)-2	
91	鼻の塞がって居る児童	「小学校」第12巻第12号	13-18	1912(M.45)-3	
92	朗読法の反面	「小学校」第13巻第4号(臨増)	30-35	1912(M.45)-7	
93	大都市の小学校は之を市外に移すべし	「教育研究」第100号	53-58	1912(M.45)-7	
94	教授時間外に於ける児童の学習	「帝国教育」第360号	68-86	1912(M.45)-7	
95	低能児の発音不明症について	「児童研究」第16巻第5号	153-160	1912(T.1)-12	★
96	村落小学校(1)	「教育研究」第105号	10-18	1912(T.1)-12	
97	村落小学校(2)	「教育研究」第111号	12-18	1913(T.2)-6	
98	村落小学校(3)	「教育研究」第113号	5-12	1913(T.2)-8	
99	斉藤教授著 実証的見地心理的思索に抛れる歴史的内容的教授法(梓溪生)	「教育研究」第113号	110-112	1913(T.2)-8	

No.	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
100	成績不良の一原因	「教育実験界」第32巻第11号	18-22	1913(T. 2)-12	★
101	東京高等師範学校内二級編制補助学校設備実際梗概（三宅鑛一『白痴及低能児』所収）	吐鳳堂書店	221-250	1914(T. 3)-2	★
102	祝辞および感想	「日本之小学教師」第184号	18-19	1914(T. 3)-4	
103	治療教育学に就きて	「教育研究」第123号	10-19	1914(T. 3)-5	★
104	機械標品室を児童自由の観察所実験所たらしめるためには	「現代教育」第10号	27-29	1914(T. 3)-6	
105	小学校に於ける治療教育的事実（一）	「教育研究」第124号	11-20	1914(T. 3)-6	★
106	小学校に於ける治療教育的事実（二）	「教育研究」第125号	10-15	1914(T. 3)-7	★
107	小学校に於ける治療教育的事実（三）	「教育研究」第126号	21-30	1914(T. 3)-8	★
108	児童に使用せしめる辞書はどんなものがよいか	「現代教育」第12号	38-42	1914(T. 3)-8	
109	家庭課業にどれだけの事を期待せんとするのか(1)	「現代教育」第15号	34-38	1914(T. 3)-11	
110	家庭課業にどれだけの事を期待せんとするのか(2)	「現代教育」第16号	26-29	1914(T. 3)-12	
111	波多野先生の御性行の一端／波多野先生の実践躬行	「教育」第381号（茗溪会）	85-90	1914(T. 3)-12	
112	人格の教育	「教育研究」第132号	60-63	1915(T. 4)-1	
113	小学校に於ける治療教育的事実（四）	「教育研究」第133号	10-14	1915(T. 4)-2	★
114	小学校に於ける治療教育的事実（五）	「教育研究」第135号	9-13	1915(T. 4)-3	★
115	立憲思想の養成は易しといへども実績を挙ぐることは難し	「現代教育」第19号	6-8	1915(T. 4)-3	
116	小学校に於ける治療教育的事実（六）	「教育研究」第137号	10-13	1915(T. 4)-5	★
117	初学年の教授時数	「教育研究」第137号	57-61	1915(T. 4)-5	
118	積極的錯暑法	「現代教育」第24号	24-28	1915(T. 4)-8	
119	腺増殖と智能の鈍弱に関する疑問	「児童研究」第19巻第8号	273	1916(T. 5)-3	★
120	児童用地図の使用法	「日本之小学教師」第207号	24	1916(T. 5)-3	
121	分団式と自学	「現代教育」第36号	28-31	1916(T. 5)-8	
122	村落小学校(4)	「教育研究」第154号	6-12	1916(T. 5)-8	
123	村落小学校(5)	「教育研究」第155号	5-12	1916(T. 5)-9	
124	村落小学校(6)	「教育研究」第156号	15-22	1916(T. 5)-10	
125	自学主義の教育（1）	「現代教育」第38号	11-15	1916(T. 5)-10	
126	自学主義の教育（2）	「現代教育」第39号	9-12	1916(T. 5)-11	
127	自学主義の教育（3）	「現代教育」第40号	11-17	1916(T. 5)-12	
128	村落小学校（7）	「教育研究」第159号	14-21	1916(T. 5)-12	
129	自学主義の教育（4）	「現代教育」第41号	10-16	1917(T. 6)-1	
130	自学主義の教育（5）	「現代教育」第42号	11-16	1917(T. 6)-2	
131	村落小学校（8）	「教育研究」第161号	29-39	1917(T. 6)-2	

No.	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
132	村落小学校(9)	「教育研究」第165号	19-27	1917(T. 6)-5	
133	自学主義の教育(6)	「現代教育」第45号	7-12	1917(T. 6)-5	
134	自学主義の教育(7)	「現代教育」第46号	6-11	1917(T. 6)-6	
135	家庭の見る児童と学校の見る児童	「家庭及学校」第1巻第1号	16-21	1917(T. 6)-6	
136	時節柄家庭への注文	「家庭及学校」第1巻第1号	35-38	1917(T. 6)-6	
137	村落小学校(10)	「教育研究」第166号	24-30	1917(T. 6)-6	
138	村落小学校(11)	「教育研究」第167号	26-33	1917(T. 6)-7	
139	国民の特殊化と普通化	「小学校」第23巻第8号	60-62	1917(T. 6)-7	
140	学校の躰けと家庭の躰け	「家庭及学校」第1巻第2号	17-23	1917(T. 6)-7	
141	家庭の見る暑中休業と学校の見る暑中休業	「家庭及学校」第1巻第3号	13-20	1917(T. 6)-8	
142	村落小学校(12)	「教育研究」第168号	24-30	1917(T. 6)-8	
143	自学主義の教育(8)	「現代教育」第49号	9-16	1917(T. 6)-9	
144	新学期に際して家庭並に学校に希望したき種々	「家庭及学校」第1巻第4号	9-15	1917(T. 6)-9	
145	家庭のお叱言学校のお叱言	「家庭及学校」第1巻第5号	36-41	1917(T. 6)-10	
146	自学主義の教育(9)	「現代教育」第50号	7-11	1917(T. 6)-10	
147	家庭の見る学校と学校の見る家庭	「家庭及学校」第1巻第6号	44-49	1917(T. 6)-11	
148	家庭の勉強は害多くして利少し	「家庭及学校」第1巻第7号	28-39	1917(T. 6)-12	
149	先生へ贈る歳暮品	「家庭及学校」第1巻第7号	114-119	1917(T. 6)-12	
150	自学主義の教育(10)	「現代教育」第53号	6-11	1917(T. 6)-12	
151	自学主義の教育(11)	「現代教育」第55号	4-11	1918(T. 7)-2	
152	どんな学校に子供を入れるべきか	「家庭及学校」第2巻第2号	26-35	1918(T. 7)-2	
153	転学は子供の教育によいか悪いか	「家庭及学校」第2巻第3号	6-15	1918(T. 7)-3	
154	勉強嫌ひな子供を勉強家にする教へ方	「家庭及学校」第2巻第4号	47-54	1918(T. 7)-4	
155	医師カラ起ル学校ノ悲劇(本図晴之助編『日本学校衛生』所収)	大日本学校衛生協会発行	224-230	1918(T. 7)-5	
156	自学主義の教育(12)	「現代教育」第58号	30-34	1918(T. 7)-5	
157	自学主義の教育(13)	「現代教育」第59号	16-20	1918(T. 7)-6	
158	自学主義の教育(14)	「現代教育」第60号	47-51	1918(T. 7)-7	
159	自学の意義及び自学力	「小学校」第25巻第9号	49-51	1918(T. 7)-7	
160	手ぬかり多き母親の躰け方	「家庭及学校」第3巻第1号	6-11	1918(T. 7)-7	
161	学校に於ける自習時間に就て	「教育実験界」第39巻第8号	16-20	1918(T. 7)-8	
162	自学主義の教育(15)	「現代教育」第61号	49-51	1918(T. 7)-8	
163	自学主義の教育(16)	「現代教育」第62号	23-26	1918(T. 7)-9	
164	自学主義の教育(17)	「現代教育」第63号	25-32	1918(T. 7)-10	
165	自学主義の教育(18)	「現代教育」第64号	23-26	1918(T. 7)-11	

No.	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
166	自学主義の教育 (19)	「現代教育」第65号	13-18	1918(T.7)-12	
167	順応としての教育か成長としての教育か	「教育論叢」第1巻第1号	43-53	1918(T.7)-12	
168	自学主義の教授法 (小学校冬季増刊『大正7年度最近思潮教育冬季講習録』所収)	同文館	55-114	1918(T.7)-12	
169	賛成し難い自学法	「教育界」第18巻第3号	40-45	1919(T.8)-2	
170	自学思想と其の背景 (自学奨励会編纂『自学主義の教育』所収)	隆文館	109-144	1919(T.8)-2	
171	自学主義教育の根本義	「教育学術界」第39巻第1号	7-13	1919(T.8)-4	
*	佐々木吉三郎：梓溪樋口長市君の米国留学を送る	「教育研究」第190号	79-80	1919(T.8)-4	
172	『愛児の躰けと愛児の教育』	隆文館	全294頁	1919(T.8)-5	
173	米化問題	「教育学術界」第39巻第3号	67-69	1919(T.8)-6	
174	『自学主義の教育法』	金港堂	全355頁	1919(T.8)-6	
175	米国より	「教育研究」第192号	69-74	1919(T.8)-6	
176	学習の動機 (自学主義の教育)	「教育論叢」第2巻第6号	103-106	1919(T.8)-12	
177	海外教育視察談-アメリカに於ける地理歴史教授の実際-	「教育」第460号 (茗溪会)	21-26	1921(T.10)-8	
178	樋口氏主張の「自学教育論」討議	「教育学術界」第44巻第1号	35-46	1921(T.10)-10	
179	大戦と国家意識	「教育論叢」第6巻第5号	1-21	1921(T.10)-11	
180	異常児の幼稚園	「幼児教育」第21巻第11号	355-360	1921(T.10)-11	★
181	異常児の幼稚園	「児童研究」第25巻第4号	107	1921(T.10)-12	★
182	米国に於ける白痴低能児の収容所に就て	「神経学雑誌」第21巻第3号	176	1922(T.11)-1	★
183	欧米に於ける読本教授の実際	「国語教育」第7巻第1号	83-87	1922(T.11)-1	
184	自学教育論 (尼子止編『八大教育主張』所収) *玉川大学出版部より復刻 (1976年)	大日本学術協会		1922(T.11)-1	
185	欧米の特殊教育施設 (一)	「教育研究」第234号	81-88	1922(T.11)-1	★
186	教育上より見たる少年法	「教育」第466号 (茗溪会)	15-22	1922(T.11)-2	
187	欧米の特殊教育 (一)	「児童研究」第25巻第6号	145-149	1922(T.11)-2	★
188	欧米の特殊教育 (二)	「児童研究」第25巻第7号	173-176	1922(T.11)-3	★
189	米国に於ける中小生徒自学の実際 (1)	「教育論叢」第7巻第3号	81-91	1922(T.11)-3	
190	米国に於ける中小生徒自学の実際 (2)	「教育論叢」第7巻第4号	81-91	1922(T.11)-4	
191	モンテッソーリの母親学校を観る	「幼児教育」第22巻第4号	104-109	1922(T.11)-4	
192	欧米の特殊教育 (三)	「児童研究」第25巻第8号	203-209	1922(T.11)-4	★
193	欧米の特殊教育 (四)	「児童研究」第25巻第9号	235-239	1922(T.11)-5	★
194	米国の特殊教育施設 (二)	「教育研究」第240号	80-86	1922(T.11)-5	★
195	学習態度の教養に就いて	「教育論叢」第7巻第5号	54-72	1922(T.11)-5	
196	米国に於ける中小生徒自学の実際 (3)	「教育論叢」第7巻第5号	59-67	1922(T.11)-5	
197	国の地位と教育	「日本教育」第1巻第1号		1922(T.11)-6	未見

No.	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
198	特殊教育上より見たる学校体育	「体育と競技」第1巻第4号	15-19	1922(T.11)-6	★
199	欧米の特殊教育(五)	「児童研究」第25巻第10号	267-271	1922(T.11)-6	★
200	回想	「信濃教育」第428号	33-37	1922(T.11)-6	
201	特殊教育学の概念	「倫理教育研究」第2号	87-112	1922(T.11)-7	★
202	欧米の特殊教育(六)	「児童研究」第25巻第12号	324-329	1922(T.11)-8	★
203	欧米の特殊教育(七)	「児童研究」第26巻第1号	13-18	1922(T.11)-9	★
204	製造された劣等児	「コドモの研究」第1巻第1号		1922(T.11)-9	★
205	ヘルバルト派の自学案	「教育論叢」第8巻第3号	36-52	1922(T.11)-9	
206	現代教育思潮の概観	「教育学术界」第46巻第1号	184-192	1922(T.11)-10	
207	自学主義の教育より見たる教師	「教育論叢」第8巻第5号	89-99	1922(T.11)-11	
208	五十年間に於ける小学校教授法の変遷	「児童教育」第17巻第1号	14-26	1922(T.11)-11	
209	我が国教育の多劣なる所以	「教育界」第21巻第12号	34-41	1922(T.11)-12	
210	当来教育問題	「教育時論」第1358号	50	1923(T.12)-1	
211	教育史上に於ける哲学上の理想主義と経験主義	「教育研究」第251号	271-285	1923(T.12)-1	
212	ダルトン自学案の進歩	「児童教育」第17巻第6号	10-23	1923(T.12)-4	
213	主意論と訓育	「教育論叢」第9巻第5号	19-45	1923(T.12)-5	
214	入学後に発見されたる児童の異常	「コドモの研究」第2巻第5号		1923(T.12)-5	★
215	教育上の実際問題(尼子止編『時代精神と教育』所収)	大日本学術協会	171-201	1923(T.12)-7	
216	新教育法の母体	「日本教育」第2巻第8号	14-19	1923(T.12)-8	
217	自学の原動力	「児童教育」第17巻第10号	4-12	1923(T.12)-8	
218	性道徳問題に関する批判につきて	「中等教育」第46号	27-34	1923(T.12)-11	
219	非常の際に処する帝都の初等教育のために	「教育学术界」第48巻第2号	195-198	1923(T.12)-11	
220	里子を引き取る時期	「幼児之研究」第2巻第2号	6-10	1924(T.13)-2	
221	『特殊児童の教育保護』	児童保護研究会	全260頁	1924(T.13)-4	★
222	高価な経験を安価にするように務めよう(帝国教育会編『震災と教育』所収)	文化書房	366-380	1924(T.13)-5	
223	我国現時の教育思想界の二大潮流(小学校夏季増刊『大正13年度最近思潮教育夏季講習録』所収)	同文館	251-295	1924(T.13)-8	
224	延長したる義務年限の処置(上)	「日本教育」第3巻第8号	2-8	1924(T.13)-8	
225	延長したる義務年限の処置(下)	「日本教育」第3巻第9号	2-6	1924(T.13)-9	
226	『欧米の特殊教育』	目黒書店	全302頁	1924(T.13)-9	★
227	文芸主義の教育	「教育論叢」第12巻第5号	111-123	1924(T.13)-11	
228	新教育の特質と其余弊	「教育研究」第282号	91-102	1925(T.14)-1	
229	ナートルプ氏のベスタロッチの労働者の教育論	「教育の世紀」第3巻第1号	62-72	1925(T.14)-1	
230	ショベンハウエルの教育論	「倫理教育研究」第10号	19-60	1925(T.14)-4	

No.	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
231	特別学級の実際	「学校衛生」第5巻第6号	9-14	1925(T.14)-6	★
232	特別学級の実際	「児童研究」第28巻第11号	408	1925(T.14)-8	★
233	特殊教育の意義（町田則文編『盲教育五十年記念誌』所収）		56-77	1925(T.14)-10	★
234	我が国の教育実際界の趨勢	「教育学術界」第52巻第1号	123-140	1925(T.14)-10	
235	祝辞	「聾啞教育」第1号	2	1925(T.14)-10	★
236	我校の使命	「聾啞教育」第1号	29-	1925(T.14)-10	★
237	文化人	「聾啞界」第33号	2-4	1925(T.14)-10	★
238	生命の力	「殿坂の友」第28号	4-7	1925(T.14)-10	★
239	御あいさつ／石川倉次先生の送別／謝辞／式辞／行啓記念／終業式	「殿坂の友」第28号	47-54	1925(T.14)-10	★
*	読唇法を教へ聾啞生を救ふー聾啞学校長になった樋口先生の温情ー	「殿坂の友」第28号	83-84	1925(T.14)-10	
240	改善せられんとする高等小学校	「日本教育」第4巻第11号	179-185	1925(T.14)-11	
241	『意的生命論に立脚せる余の自学主義の教育』	目黒書店	全406頁	1925(T.14)-12	
242	文化人としての修養	「聾啞界」第34号	2-5	1926(T.15)-2	★
243	巻頭言	「聾啞教育」第2号	1	1926(T.15)-5	★
*	全国教育家名簿・樋口長市	「教育週報」第50号	6	1926(T.15)-5	
244	怨むな敵ではない	「聾啞界」第35号	3-5	1926(T.15)-6	★
245	實際上より見たる現時の教育学説	「教育研究」第304号	3-11	1926(T.15)-7	
246	移り気は身を亡ぼす	「聾啞界」第36号	3-4	1926(T.15)-8	★
247	高等小学校は今一層改良せねばならぬ	「教育の世紀」第4巻第8号	44-53	1926(T.15)-8	
248	学問や学者の転移（奚信生）	「教育論叢」第16巻第3号	157-159	1926(T.15)-9	
249	『我国現時の三大教育学説』	目黒書店	全345頁	1926(T.15)-11	
250	修養の機会	「聾啞界」第37号	3-4	1926(T.15)-12	★
251	（巻頭言）学校の移管（CH）	「聾啞教育」第3号	1-2	1927(S.2)-1	★
252	筋語	「聾啞教育」第3号	3-8	1927(S.2)-1	★
253	ベスタロッチの追想・読書せぬ為創意を妨げられなかった人	「教育論叢」第17巻第2号	101-105	1927(S.2)-2	
254	教聖百年祭に面して	「教育週報」第91号	4	1927(S.2)-2	
255	国民の気質と体罰	「教育論叢」第17巻第3号	119-124	1927(S.2)-3	
256	小さな恥を忍ばない者は大きな恥をかかねばならぬ	「聾啞界」第38号	3-4	1927(S.2)-3	★
257	教育学上の心理主義	「倫理教育研究」第18号	9-34	1927(S.2)-4	
258	盲及聾啞児教育機関の拡張一付・その就学義務制度と学資補給	「日本教育」第6巻第4号	52-57	1927(S.2)-4	★
259	道理に従へ	「聾啞界」第39号	3-4	1927(S.2)-6	★
260	歌に隠れよ	「殿坂の友」第29号	1-2	1927(S.2)-6	★

No.	著書・論文名	誌名・巻号／発行所	頁	発行年月	備考
261	紀元節祝日訓辞／入学式と始業式／奈良忠治先生の送別／	「殿坂の友」第29号	23-27	1927(S. 2)-6	★
262	(巻頭言) 聾啞教育界の不振は教育者自ら悔るに因る	「聾啞教育」第4号	1-	1927(S. 2)-7	★
263	聾啞学校の改称と其内容	「聾啞教育」第4号	3-	1927(S. 2)-7	★
264	サミュエル・ハイニッケの小伝	「聾啞教育」第4号	55-	1927(S. 2)-7	★
265	教育の原理と実際	「教育論叢」第18巻第2号	1-17	1927(S. 2)-8	
266	読物制限の機	「日本教育」第6巻第9号	35-38	1927(S. 2)-9	
267	樋口長市氏教育学 (大日本学術協会編修『日本現代教育学大系 第六巻』所収)	モナス	205-313	1927(S. 2)-9	
268	特殊教育に於ける未解決の問題	「教育週報」第123号	5	1927(S. 2)-9	★
269	金も石も堅くはない	「聾啞界」第40号	3-5	1927(S. 2)-10	★
270	結婚問題	「聾啞界」第41号	2-4	1927(S. 2)-12	★
271	特殊教育の将来	「教育研究」第322号	90-99	1928(S. 3)-1	★
272	『比較教育』	宝文館	全334頁 附録23頁	1928(S. 3)-1	
273	常識修養	「聾啞界」第42号	2-5	1928(S. 3)-3	★
274	母校の隆昌と卒業生の責務	「殿坂の友」第30号	1-3	1928(S. 3)-3	★
275	(講話) 海軍記念日／終業式／始業式／明治節／第三学期始業式	「殿坂の友」第30号	36-40	1928(S. 3)-3	★
276	(巻頭言) 真理を目がけよ	「聾啞教育」第5号	1	1928(S. 3)-7	★
277	聾啞生用の国語読本は果たして必要か	「聾啞教育」第5号	2-	1928(S. 3)-7	★
278	生命の創造力	「聾啞界」第44号	2-4	1928(S. 3)-10	★
279	(巻頭言) 社会愛に立脚して個人愛(奚信)	「聾啞教育」第6号	1	1928(S. 3)-	★
280	果たして忘恩か	「聾啞界」第45号	1-3	1928(S. 3)-12	★
281	(巻頭言) 特殊教育週間(奚信)	「聾啞教育」第7号	1	1929(S. 4)-2	★
282	我聾啞教育の実績はいつかは世界に冠たり得べし	「聾啞教育」第7号	2-	1929(S. 4)-2	★
283	微笑で仕事は一番	「聾啞界」第46号	2-4	1929(S. 4)-2	★
284	傑出者出でよ	「聾啞界」第47号	2-3	1929(S. 4)-5	★
285	(巻頭言) 耳の征服未だし(奚信)	「聾啞教育」第8号	1	1929(S. 4)-7	★
286	「国語初歩」の刺激によって實際界に惹起せらるる興奮	「聾啞教育」第8号	2-8	1929(S. 4)-7	★
287	本邦唯一の聾碩学三山谷釋齋先生	「聾啞教育」第8号	39-42	1929(S. 4)-7	★
288	聾啞教育史上に於ける東西の哀話(梓溪生)	「聾啞教育」第8号	48-49	1929(S. 4)-7	★
289	独学して本邦唯一の聾碩学となった谷三山先生	「殿坂の友」第31号	1-5	1929(S. 4)-7	★
290	(講話) 久宮御屍去／始業式／天長節奉祝式／終業式／始業式／秩父宮御結婚／御真影拝戴式／初めての明治節／創立記念式／終業式	「殿坂の友」第31号	50-57	1929(S. 4)-7	★

No.	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
*	改訂日本教育家録・樋口長市	「教育週報」第222号	4	1929(S.4)-8	
291	会誌を生かすには	「聾啞界」第48号	2-3	1929(S.4)-9	★
*	人物の片影・樋口長市君	「教育週報」第230号	4	1929(S.4)-10	
292	(巻頭言) 聾啞教員の将来 (奚信生)	「聾啞教育」第9号	1	1929(S.4)-12	★
293	自動自進の現代	「聾啞界」第50号	2-4	1930(S.5)-3	★
294	短を嘆くな	「聾啞界」第51号	2-5	1930(S.5)-6	★
295	(巻頭言) 寄宿舎から生徒を救へ (奚信生)	「聾啞教育」第10号	1	1930(S.5)-7	★
296	實際家の研究法 (梓溪生)	「聾啞教育」第10号	2-6	1930(S.5)-7	★
297	白耳義法	「聾啞教育」第10号	18-24	1930(S.5)-7	★
298	聾吟の志士宇都宮眞名介先生	「聾啞界」第52号	3-5	1930(S.5)-9	★
299	恐縮の数々	「口語式聾教育」第6巻第9号 (臨増)	9-10	1930(S.5)-9	★
300	(巻頭言) 杞憂が杞憂で無くなった (奚信生)	「聾啞教育」第11号	1	1930(S.5)-12	★
301	当時を追憶して	「聾啞教育」第11号	3-6	1930(S.5)-12	★
302	社会的低能となる勿れ	「聾啞界」第53号	2-4	1930(S.5)-12	★
303	昭和五年の聾啞教育界	「帝国教育」第580号	47-49	1930(S.5)-12	★
304	(巻頭言) 信ずるは成功の初	「聾啞教育」第12号	1	1931(S.6)-3	★
305	如何なる人が口話教師に適しないか	「聾啞教育」第12号	2-7	1931(S.6)-3	★
306	自立自頼の精神を象徴して会館は立てり	「聾啞界」第54号	2	1931(S.6)-3	★
307	口話を教授するは手話者を迫害する為ではない	「殿坂の友」第32号	1-3	1931(S.6)-3	★
308	多事多幸なる本年	「殿坂の友」第32号	4	1931(S.6)-3	★
309	当時を語る	「殿坂の友」第32号	10-12	1931(S.6)-3	★
310	樋口校長の訓話	「殿坂の友」第32号	61-62	1931(S.6)-3	★
311	(巻頭言) 義務就学制度の前提 (梓溪)	「聾啞教育」第13号	1	1931(S.6)-6	★
312	中等部の設置	「聾啞教育」第13号	2-5	1931(S.6)-6	★
313	石川君を偲ぶ	「聾啞教育」第13号	83-84	1931(S.6)-6	★
314	更に博覧を望む	「聾啞界」第55号	2-3	1931(S.6)-6	★
*	加藤英一：樋口長市先生に与ふ	「聾啞界」第55号	10-11	1931(S.6)-6	★
315	振はざる聾啞教育	「連帯時報」第11巻第7号	56-65	1931(S.6)-7	★
316	文章による表現力の修養	「聾啞界」第56号	2-6	1931(S.6)-9	★
317	多種多様な聾啞児の手芸品—その展覧会に就いて樋口長市氏語る	「教育週報」第332号	2	1931(S.6)-9	★
318	(巻頭言) ケースメソッド (梓溪生)	「聾啞教育」第14号	1-2	1931(S.6)-10	★
319	口話教授技術者としての女性 (奚信生)	「聾啞教育」第14号	3-8	1931(S.6)-10	★
320	(巻頭言) 聖旨奉体	「聾啞教育」第15号	1	1931(S.6)-12	★

No	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
321	米国は果して手話式の国かそれとも口話式の国か(梓溪生)	「聾啞教育」第15号	2-6	1931(S. 6)-12	★
322	聾啞者作品展覧会を顧みて	「聾啞界」第57号	2-3	1931(S. 6)-12	★
323	聾啞界鳥瞰	「殿坂の友」第33号	1-3	1931(S. 6)-12	★
324	石川君を偲ぶ	「殿坂の友」第33号	8-9	1931(S. 6)-12	★
325	(訓話)地久節/閉業式	「殿坂の友」第33号	37-38	1931(S. 6)-12	★
326	昭和七年教育界への要望-特殊教育の領土から-	「帝国教育」第593号	28-32	1932(S. 7)-1	★
327	義務を果すに敏なれ	「聾啞界」第58号	2-4	1932(S. 7)-3	★
328	社会的地位は向上しつつあり	「聾啞界」第59号	2-5	1932(S. 7)-6	★
329	初等教育に於ても我国は世界の三等国である	「帝国教育」第606号	18-24	1932(S. 7)-7	★
330	学校の種類と生活形式	「教育研究」第389号	3-7	1932(S. 7)-7	
331	(巻頭言)教育会事業の分化(奚信生)	「聾啞教育」第17号	5	1932(S. 7)-7	★
332	嚙く人に答ふ(梓溪生)	「聾啞教育」第17号	6-11	1932(S. 7)-7	★
333	自力更生論	「聾啞界」第60号	2-5	1932(S. 7)-9	★
334	教育が生活指導になるまで	「教育学研究」第1巻第7号	1-24	1932(S. 7)-10	
335	(巻頭言)兼題は一夜漬にすべきでない(梓溪)	「聾啞教育」第18号	1	1932(S. 7)-10	★
336	タドマ法に対する疑点	「聾啞教育」第18号	2-9	1932(S. 7)-10	★
337	特殊教育の回顧	「帝国教育」第616号	39-40	1932(S. 7)-12	★
338	(巻頭言)読唇は最早問題にあらず(梓溪)	「聾啞教育」第19号	1	1932(S. 7)-12	★
339	世界最初の聾文学博士ザンヌ・ラヴォー嬢	「殿坂の友」第34号	1-4	1932(S. 7)-12	★
340	統一生活の指導	「教育研究」第397号	37-43	1933(S. 8)-1	
341	故瀧澤菊太郎翁追悼篇	「帝都教育」第347号(臨増)	10	1933(S. 8)-2	
342	(巻頭言)校長論(梓溪生)	「聾啞教育」第20号	1	1933(S. 8)-3	★
343	聾啞教育上の尖端問題	「聾啞教育」第20号	2-6	1933(S. 8)-3	★
344	栄進の道はあり	「聾啞界」第62号	2-3	1933(S. 8)-3	★
345	(巻頭言)聾啞教育家の嘆き(梓溪生)	「聾啞教育」第21号	1	1933(S. 8)-6	★
346	第二世紀の聾啞教育	「聾啞教育」第21号	2-9	1933(S. 8)-6	★
347	スポーツマンの競技	「聾啞界」第63号	2-3	1933(S. 8)-6	★
348	学校令発布十年-首聾啞教育発展の跡-	「教育週報」第426号	2	1933(S. 8)-7	★
349	我国の特殊教育は未だ二十世紀に入って居ない	「帝国教育」第632号	29-37	1933(S. 8)-8	★
350	(巻頭言)義務教育実施期成同盟会(梓溪)	「聾啞教育」第22号	1	1933(S. 8)-9	★
351	向上は寝て待つべきではない	「聾啞界」第64号	2-3	1933(S. 8)-9	★
352	生活教育学(1)	「教育学研究」第2巻第7号	67-81	1933(S. 8)-10	
353	特殊教育の傾向	「教育思潮研究」第7巻第4輯	220-230	1933(S. 8)-11	★
354	生活教育学(2)	「教育学研究」第2巻第8号	38-58	1933(S. 8)-11	

No	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
355	生活教育学(3)	「教育学研究」第2巻第9号	12-47	1933(S.8)-12	
356	(巻頭言)義務就学制実現までの三段階(梓溪)	「聾啞教育」第23号	1-2	1933(S.8)-12	★
357	規範の衝突	「聾啞教育」第23号	3-9	1933(S.8)-12	★
358	社会部の事業	「聾啞界」第65号	2-4	1933(S.8)-12	★
359	望みは高く歩みは確かに	「殿坂の友」第35号	2-5	1933(S.8)-12	★
360	生活教育学(4)	「教育学研究」第2巻第10号	43-75	1934(S.9)-1	
361	(巻頭言)研究をレコードの先に	「聾啞教育」第24号	1	1934(S.9)-3	★
362	天恩優渥	「聾啞界」第66号	2-3	1934(S.9)-3	★
363	(巻頭言)初等教育者の光栄と重責(梓溪)	「聾啞教育」第25号	1	1934(S.9)-6	★
364	所謂自然的	「聾啞教育」第25号	2-11	1934(S.9)-6	★
365	我等は朗らかに進みつつあり	「聾啞界」第67号	3-5	1934(S.9)-6	★
366	吾等は広くまた深く精神的に生活しつつあり	「聾啞界」第68号	2-3	1934(S.9)-9	★
367	昭和九年度協同研究会記録第二輯の序	「聾啞教育」第26号	2	1934(S.9)-10	★
368	検息器は無用(奚信生)	「聾啞教育」第27号	1	1934(S.9)-12	★
369	凡ては頭から出る	「聾啞界」第69号	2-4	1934(S.9)-12	★
370	七夕様のやうな会誌	「殿坂の友」第36号	2-3	1934(S.9)-12	★
371	『生活教育学』	目黒書店	全314頁	1935(S.10)-1	
372	余の教員生活と教育上の些細な仕事	「教育」第3巻第1号	226-246	1935(S.10)-1	
373	教育の対象としての生活	「教育学研究」第3巻第11号	128-161	1935(S.10)-2	
374	(巻頭言)口話教育者の四階程(奚信生)	「聾啞教育」第28号	1	1935(S.10)-2	★
375	昭和九年度の本協会	「聾啞界」第70号	2-5	1935(S.10)-3	★
376	(巻頭言)生徒はいふ(梓溪生)	「聾啞教育」第29号	1	1935(S.10)-5	★
377	脱皮と崇化	「白山」第2号	2-3	1935(S.10)-6	★
378	(巻頭言)敵は咽喉に籠れり(梓溪生)	「聾啞教育」第30号	1	1935(S.10)-7	★
379	「発音身振法」の試用	「聾啞教育」第30号	39-45	1935(S.10)-7	★
380	新人の活躍を望む	「殿坂の友」第37号	2-3	1935(S.10)-7	★
381	小西信八先生存稿刊行会趣意書	「殿坂の友」第37号	36	1935(S.10)-7	★
382	昭和十年度協同研究会記録第三輯の序	「聾啞教育」第31号	1	1935(S.10)-10	★
383	東京聾啞学校『創立六十年史』 *「序」及び「後篇 第二・三・四章」 (pp.362-428)を執筆	東京聾啞学校	全466頁	1935(S.10)-10	★
384	序 聾啞教育六十年史(梓溪)	「聾啞教育」第32号	4	1935(S.10)-12	★
385	六十年來建学の精神	「殿坂の友」第38号	2-3	1935(S.10)-12	★
386	(巻頭言)紀元二千六百年までに(梓溪)	「聾啞教育」第33号	1-2	1936(S.11)-2	★
387	正音主義対語調主義(奚信生)	「聾啞教育」第33号	3-13	1936(S.11)-2	★
388	(巻頭言)聾啞教育上のアクティヴィズム	「聾啞教育」第34号	2-5	1936(S.11)-3	★

No.	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
389	補聴器論 (奚信生)	「聾啞教育」第34号	6-17	1936(S.11)-3	★
390	開発教授 (岩波『教育学辞典』第1巻所収)	岩波書店	204-205	1936(S.11)-5	
391	(巻頭言) 過渡期よ疾く去れ (梓溪生)	「聾啞教育」第35号	4-5	1936(S.11)-6	★
392	会誌に材質	「聾啞界」第75号	3-5	1936(S.11)-6	★
*	樋口先生の御近影に寄せて	「白山」第3号	1	1936(S.11)-6	★
393	社会的地位の向上は先づ自分の周囲から	「殿坂の友」第39号	2-5	1936(S.11)-7	★
394	再訂日本教育家録・樋口長市	「教育週報」第588号	4	1936(S.11)-8	
395	世界各国の義務教育年限(樋口長市氏の調査)	「教育週報」第590号	2	1936(S.11)-9	
396	昭和十一年度協同研究会記録第四輯の序言	「聾啞教育」第36号	1	1936(S.11)-9	★
397	『比較教育制度論』(現代教育学体系第1部原論篇第22巻)	成美堂	全300頁	1936(S.11)-10	
*	(筆跡を辿る・二十) 樋口長市さん	「教育週報」第598号	6	1936(S.11)-10	
398	(巻頭言) 農業科に期待する所は (梓溪生)	「聾啞教育」第37号	6-7	1936(S.11)-11	★
*	佐藤在寛:理想と実際一敢て梓溪生に教を乞ふ	「聾啞教育」第37号	8-17	1936(S.11)-11	
399	聾啞幼稚園	「幼児の教育」第36巻第12号	2-9	1936(S.11)-12	★
400	皇太后陛下を迎へ奉りて	「殿坂の友」第40号	2-3	1936(S.11)-12	★
401	行啓の光栄に浴して	「聾啞界」第77号	2-5	1936(S.11)-12	★
402	(巻頭言) 余すは一道二鼎のみ (奚信生)	「聾啞教育」第38号	1	1937(S.12)-2	★
403	方言問題(1) (梓溪生)	「聾啞教育」第38号	4-11	1937(S.12)-2	★
404	(巻頭言) 今様仁和寺法師 (梓溪生)	「聾啞教育」第39号	1	1937(S.12)-3	★
405	方言問題(2) (梓溪生)	「聾啞教育」第39号	4-11	1937(S.12)-3	★
406	不用になりたる二建議	「聾啞界」第78号	3-8	1937(S.12)-3	★
407	生活の意義とその指導原理	「尋一〜六研究」		1937(S.12)-5	未見
408	(巻頭言) 利用すべき斯機会 (奚信生)	「聾啞教育」第40号	1	1937(S.12)-6	★
409	ヘレン・ケラー女史によって与へられた問題 (梓溪生)	「聾啞教育」第40号	4-12	1937(S.12)-6	★
410	諦観と長所の伸展	「殿坂の友」第41号	2-5	1937(S.12)-7	★
411	藉古述今	「白山」第4号	2-4	1937(S.12)-7	★
*	〈特集〉前会長樋口先生を送る ①(口絵)勇退せられたる前会長樋口長市先生の面影 ②岡山準:樋口長市先生略年譜 ③綿貫哲雄:教へられる数々 ④由良哲次:先生の思想と人格 ⑤山岡勘一:特殊教育者としての先生 ⑥丸山良二:先生の児童観 ⑦嶋畑彦三:人間としての先生	「聾啞教育」第42号	7-45 8-11 12 13-19 19-28 28-42 43-45	1937(S.12)-12	
412	一等国として恥づべき我国の特殊教育につきて教育審議会に望む	「帝国教育」第712号	93-99	1938(S.13)-2	★
413	注入教授 (岩波『教育学辞典』第3巻所収)	岩波書店	1594	1938(S.13)-5	
414	詰込み (岩波『教育学辞典』第3巻所収)	岩波書店	1643-1644	1938(S.13)-5	

No.	著書・論文名	誌名・巻号/発行所	頁	発行年月	備考
415	特殊学校（岩波『教育学辞典』第3巻所収）	岩波書店	1744-1745	1938(S.13)-5	★
416	特殊学校（岩波『教育学辞典』第3巻所収）	岩波書店	1745-1746	1938(S.13)-5	★
417	『特殊教育学』（師範大学講座教育・心理第七巻）	建文館	全124頁	1938(S.13)-7	★
418	盲聾教育の恩人小西信八翁近く	「教育週報」第686号	7	1938(S.13)-7	★
*	〈特輯〉樋口先生を偲ぶ ①三浦浩：聾哑教育に功績を残された樋口先生を偲びて ②横江栄雄：樋口先生の事 ③尾形ちえ子：恩師を思ふ ④浅羽君枝：異郷の国より ⑤中鶴秀夫：樋口先生の思ひ出 ⑥津布久収：トラックより先生を思ふ ⑦高橋ゆう子：樋口先生の思ひ出 ⑧古家つね子：樋口前校長の思ひ出 ⑨池上権人：前校長樋口先生を思ふ	「殿坂の友」第42号	4-13 5 5-6 6-8 8-9 9 9-10 10-11 11-12 12-13	1938(S.13)-7	
*	由良哲次：師を語る・樋口長市先生の学と人	「教育学術界」第77巻第5号	70-79	1938(S.13)-8	
419	リアリズムの教育家棚橋君	「教育研究」第486号	119-122	1938(S.13)-9	
420	正誤論（『盲聾教育の師父・小西信先生 小伝と追憶』所収）		33-36	1938(S.13)-10	★
421	文相訓示の解釈方とその遵奉方	「聾哑教育」第50号	2-18	1939(S.14)-3	★
422	『特殊教育学』	建文館	全529頁	1939(S.14)-7	★◎

（付記）筆者は、日本教育学会第55回大会（1996年8月 於・京都大学）において、「近代日本における『特殊教育』概念の教育学的研究—乙竹岩造・樋口長市・川本宇之介の比較検討—」というテーマで研究発表した。本目録は、発表当日に配布した資料中の樋口目録の部分若干補正して掲載したものである。研究発表の本論の部分は、「近代日本における『特殊教育』概念の形成—学校教育法の『特殊教育』概念に関する歴史的検討—」と改題し、修正・加筆の上で「障害者問題研究」第24巻第4号（1997年2月）に発表した。ご検討いただければ幸いである。